

No.22



生産管理コース

ヒューマンエラー対策の進め方

～ミス・エラーの60～80%はヒューマンエラーとポカミスである～

製造現場では、人的ミスにより様々な問題が発生します。人的ミスには対策により防げるものもあるため、すべてを個人の問題として処理せず、発生要因を分析し、組織的に再発防止に取り組むことが重要です。

本研修では、ポカミスの予防・防止に必要な着眼点と効果的な対策の考え方を整理し、ヒューマンエラーから生じるポカミス対策を事例を交えて学んでいただくとともに、自社のポカミス対策について検討していただきます。

募集案内

研修期間

1.17_火～19_木

対象者… 管理者、新任管理者、
製造部門のリーダー

会場… 中小企業大学校人吉校

募集人員… 30名

受講料… 31,000円(税込)

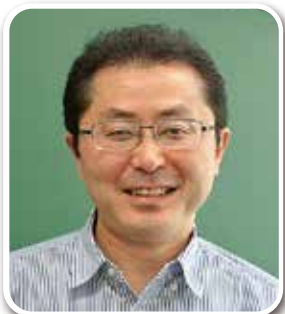
ここがポイント!

- ヒューマンエラーの本質を理解することで、効果的な対策へのヒントを得られます。
- ポカヨケの考え方と仕組みづくりのポイントを学んでいただきます。
- 演習を通じて、自社のポカヨケの仕組みづくりに取り組んでいただきます。

月日	時間	科目	内容
平成29年 1/17 (火)	9:15 ┆ 9:30	開講式・オリエンテーション	
	9:30 ┆ 12:30	ヒューマンエラーとポカミスの特性	(1)ヒューマンエラーの捉え方 ・ヒューマンエラーの問題点 ・発生とリスク ・失敗要因と対策のポイント
	13:30 ┆ 17:30		(2)ポカミス対策 (3)ヒューマンエラー対策 (4)事例研究
		受講者交流会	
1/18 (水)	9:30 ┆ 12:30	ポカミスの予防とヒューマンエラーの予防	(1)ポカミスの予防 ・準備とエラー調査 ・要因追及 ・対策立案と定着化
	13:30 ┆ 18:00		(2)ヒューマンエラーの予防 ・リスクマネジメントによるエラー防止 ・リスク(潜在エラー)抽出 ・リスクアセスメント
1/19 (木)	9:30 ┆ 12:30	自社のポカミス対策の検討(演習)	(3)エラーを発生させない仕組みづくり ・仕組みの考え方 ・人材の育成とケア
	13:30 ┆ 17:00		・自社のポカミスの要因分析 ・自社のポカヨケの仕組みづくりの検討
	17:00 ┆ 17:10	終講式(修了証書交付・アンケート記入)	

※実施にあたり内容等が変更になることがあります。

講師紹介



株式会社IMEコンサルティング
代表取締役

立居場 誠治(たていば せいじ)

大手建材メーカーに入社し、生産管理、コストダウン、品質管理等を担当。経営コンサルティング会社を経て、1998年独立。2001年法人設立。

専門はIE技術を軸とした原価低減、現場改善、ISO9001、14001認証支援。公的機関、中小企業大学校での講師、民間企業のコンサルティングを行う。OHSAS18001、ISMS、日本経営品質賞アセッサー。

お勧めします!.....

- 人的要因による自社工場の歩留まり悪化を改善したい方
- ポカミスが発生させない仕組みを作りたい方

関連研修のご案内

No.24 生産管理研修

平成29年2月6日(月)～8日(水)／

3月6日(月)～8日(水)【全6日間】

平成28年度 受講申込書

所在地 (住所)	〒 -	代表者 役職名	
フリガナ 企業名 (又は屋号)		フリガナ 代表者名	
代表番号	TEL () -	FAX () -	

【事務連絡先】

担当部課		役職		フリガナ 担当者名	
連絡先TEL	() -	連絡先FAX	() -	※上記と同じ場合は省略可	
連絡先住所	〒 -	E-mail:			
※上記と同じ場合は省略可		メルマガ配信の希望 (有 ・ 無)			

事業概要 ※該当する記号・番号に○印をつけてください。

資本金	万円	従業員数	名	創業	西暦	年	月
業種	E 建設業 F 製造業 H 情報通信業 I 運輸業 J 卸売業・小売業 K 金融・保険業 L 不動産業 M 飲食店・宿泊業 Q サービス業 S その他()			主な取扱品			
製造業 中分類	9 食料品 10 飲料・たばこ・飼料 11 繊維 12 衣服 13 木材・木製品 14 家具・建具 15 パルプ・紙 16 印刷 17 化学 18 石油製品 19 プラスティック製品 20 ゴム製品 21 革製品 22 窯業・土石製品 23 鉄鋼 24 非鉄金属 25 金属製品 26 一般機械器具 27 電気機械器具 28 情報通信機械器具 29 電子部品・デバイス 30 輸送用機械器具 31 精密機械器具 32 その他						

入寮(校内宿泊)について ●大学校施設(浜佳寮)へは、研修期間の前日から最終日の翌日までお泊りいただけます。※2,200円/泊(税込・朝食サービス) 満室の際はご容赦ください。

コース 番号	コース名 (短縮して記入してもかまいません)	フリガナ 氏名	役職 (役職を記入の上、該当部に○)	性別	年齢	入寮申込 (校内宿泊)	入寮期間 (校内宿泊)
22	記入例 ヒューマンエラー対策の進め方	ヒトヨシ タロウ 人吉 太郎	生産課長 代表者・役員・ 管理者 ・管理者候補等	男・女	45 歳	入寮する <input checked="" type="checkbox"/> → 入寮しない <input type="checkbox"/>	1/17 ~ 1/19 (2泊3日)
緊急連絡先等 TEL【自宅・携帯電話等】 090 - 0000 - x x x x							
			代表者・役員・管理者・管理者候補等	男・女	歳	入寮する <input type="checkbox"/> → 入寮しない <input type="checkbox"/>	/ ~ / (泊日)
緊急連絡先等 TEL【自宅・携帯電話等】 - -							
			代表者・役員・管理者・管理者候補等	男・女	歳	入寮する <input type="checkbox"/> → 入寮しない <input type="checkbox"/>	/ ~ / (泊日)
緊急連絡先等 TEL【自宅・携帯電話等】 - -							

その他の留意事項 ※宿泊室は、身体の不自由な方(車椅子ご利用の方)のための部屋がございます。ご希望の方はその旨で記入ください。

貴社では、この研修をどこでお知りになりましたか。該当する番号に○印をつけてください。

1 ダイレクトメール	4 大学校機関紙	7 金融機関からの紹介	10 県・市等の機関紙
2 研修ガイド	5 受講者の紹介	8 新聞・雑誌等	11 その他(具体的に)
3 ホームページ	6 商工団体等	9 テレビ・ラジオ	

【個人情報の保護について】 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用いたします。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客さまの同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

●申込書が足りない場合は、コピーしてお使いください。

◆お問い合わせ先

中小企業大学校 人吉校

〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町梢山1769-1
TEL:0966-23-6800 研修課 (平日9:00~17:45)
FAX:0966-22-1456

◆お申込方法 上記の申込書にご記入の上、以下までご送付ください。

FAX FAX:0966-22-1456

ホームページ

人吉校

検索



中小企業基盤整備機構(中小機構)では、平成26年4月より、これまで民間事業者
に委託してきた研修業務を見直し、研修の企画・募集業務は中小機構が実施
し、研修の運営業務及び大学校施設の管理・運営業務は従来どおり公共サービ
ス改革法に基づき民間事業者へ委託して実施しています。

経営コンサルタント等(中小企業診断士、社会保険労務士、税理士等)、教育・研修事業
者の方は、受講をご遠慮いただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。